

救急統計

(日光地区消防組合)

| 種別 | 昭和60年 | 昭和61年 |
|------|-----------|-----------|
| 出動件数 | | |
| 急病 | 262 | 293 |
| 交通事故 | 195 | 169 |
| 一般負傷 | 106 | 101 |
| 火災 | 0 | 0 |
| 自然災害 | 0 | 0 |
| 水難 | 2 | 1 |
| 労働災害 | 6 | 18 |
| 運動競技 | 8 | 15 |
| 加害 | 8 | 6 |
| 自損 | 18 | 4 |
| その他 | 69 | 85 |
| 計 | 674 | 692 |
| 搬送人員 | | |
| 急病 | 252 (108) | 280 (132) |
| 交通事故 | 225 (52) | 187 (37) |
| 一般負傷 | 106 (23) | 101 (30) |
| 火災 | 0 (0) | 0 (0) |
| 自然災害 | 0 (0) | 0 (0) |
| 水難 | 1 (0) | 1 (0) |
| 労働災害 | 5 (1) | 17 (5) |
| 運動競技 | 7 (0) | 14 (2) |
| 加害 | 6 (4) | 6 (1) |
| 自損 | 15 (1) | 3 (1) |
| その他 | 59 (18) | 72 (26) |
| 計 | 676 (207) | 681 (234) |

() の数字は市内居住者

交通事故がやや減少

六十一年の消防統計まとまる

火災

市消防本部では、このほど昭和六十一年一月から十二月までの消防統計をまとめました。

はたばこの不始末、石油・ガス・電気器具の取扱い不注意がほとんどです。

二月二十八日から三月十三日まで「春の全国火災予防運動」が行われます。

もう一度、ガス・石油器具等の点検、火の元の管理を十分注意しましょう。

救急

統計によりますと、昨年の火災発生件数は十七件で、内訳は、建物火災が九件、林野火災二件、車両火災三件、その他三件となっています。

損害額は、五千四百八十九万一千円にのぼり、出火原因

急病人や交通事故等による負傷者の救急活動では、救急

八人増、交通事故は百八十七人、一般負傷は百

六件の減となりました。

搬送人員の内訳では、急病が二百八十人で前年より二十

一人で五人減などとなっています。



一八九番には、休日も深夜もありません。

搬送人員の総数六百八十一人の中には、観光客など市外居住者が多く、市内居住者は二百三十四人です。特に交通事故は百八十七人中百五十人が市外居住者であり、観光地日光の特性をみせています。交通事故は昨年に比べやや減少していますが、まだまだ大きなウェイトを占めています。交通ルールを守り交通事故に十分注意しましょう。

経済・観光

時局講演会開催

2月12日午後2時

総合会館

市、商工会議所、観光協会等が主催する時局講演会が次のとおり開催されます。

講師は、評論家田原総一郎先生で「日本経済の動向と観光産業の将来」と題し、今後の経済見通しや観光産業への波及などが講演されます。

皆さん、ぜひご出席ください。

日時 二月十二日(土)午後二時から

場所 総合会館大会議室

受講料 無料

講師 政治・経済評論家 田原総一郎先生

【略歴】 昭和九年、滋賀

県彦根市生まれ、早稲田大

学卒業、岩波映画、東京十

二チャンネル(現・テレビ

東京)等を経て、現在は評論家。